



# おおくす

校長 藤本 尚

## 運動会の練習が始まりました



感染症及び熱中症対策をしながら、児童が生き生きと活躍できるよう教育活動を進めます。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

## 子どもたちの学力・学習状況調査について（6年生）

本年4月19日に、小学校第6学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要について、本校の児童の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果や今後の取組を以下のとおりまとめました。

なお、「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で実施されています。

さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的とされています。しかしながら、調査により測定できるのは学力の中でも特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。このことを十分考慮し、今後の本校の子どもたちの学力向上や取組に生かしていきます。ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。

### 学力の状況

今年度の結果から

※△全国平均を下回った ○県平均と同等

国語と算数は全国平均を下回っております。  
理科は三重県・全国と同等になっています。  
条件がそろっているもの、書き出しが書いてあるものについて正答率が高いです。

漢字の正答率が低いです。プログラミングの問題に苦労しているところから、論理的思考力が必要です。さらに記述問題が苦手な傾向にあります。

引き続き読解力や論理的思考力を養うとともに綴り方学習（作文指導）を進め、さらに授業改善を進めながら、子ども一人ひとりの力を伸ばしていきたいです。

#### 【児童質問紙調査の結果】

全国学力・学習状況調査では、学力の調査だけではなく、児童の学習に対する関心・意欲・態度や規範意識・自尊感情、学習の基盤となる活動・習慣についても調査しています。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と好意的に回答した割合を全国と比べて、長太小児童の強みや弱みを分析しました。以下はその結果です。

学習に対する関心・意欲・態度では「最後までやりぬくことが大切である」ことや「算数が好きである」という問いに対して、全国と比べて高かったです。弱みとしては「国語がわかりにくい」や「新聞を毎日読んでいる児童は0%」でした。今後は、仲間の考えを聞き合って自分の考えを伝えていく「わかる」授業をめざしていきます。また学校で「子ど

	国語	算数	理科
長太小 正答率	△	△	○
三重県正 答率	65	62	63
全国 正答率	65.6	63.2	63.3

も新聞」を購入し、児童に読ませる機会を増やしていきます。そして引き続き、綴り方学習（作文指導）を実施していきます。

また、学習の基盤となる活動・習慣では自己肯定感が低く、「将来の夢を持っている児童」が少ない結果となりました。また「地域行事への参加」も少ない状況です。

逆に、高い結果となったのが、「いじめはどんな理由があっても絶対にいけない」ことや「協力して物事を進める」ことという意識でした。誠実に心正しくあろうとしていることがわかります。日頃から、子どもたちの行動をよく観察し、ご助言をいただいているおかげです。今後は感染防止対策を徹底して、様々な体験活動を実施していきます。

## みえスタディ・チェックの結果について（4・5年生）

### 学力の状況 今年度の結果から

※◎県平均を上回った ○県平均と同等 △県平均を下回った

	国語	算数
4年生 正答率	◎	◎
三重県 正答率	59.3	53.3

	国語	算数	理科
5年生 正答率	◎	○	△
三重県 正答率	52.3	55.8	54

4年生は国語と算数ともに、県平均を上回っております。

5年生は国語が上回り、算数は同等、理科は県平均を下回っています。

国語では、漢字や主語述語に関する正答率が低いです。算数では割合や図形、角度の問題に苦労しています。ただし無解答率が低く、これまでの授業改善が生かされていると考えています。引き続き、6年生と同様に、読解力や論理的思考力を養うとともに、綴り方（作文指導）を進めていきたいです。

### 今後の取り組み

#### 【国語科】

- 「自分の考えをまとめて書く」力を高めるため以下の指導を行う。
  - ・意味のわからない言葉を調べたり、話し合ったりして解決させ、定着させること
  - ・説明文では、要約で大切にしたい言葉を見つけること
  - ・物語文では、繰り返し音読し、全体の様子をつかみながら読み深め、感想を書くこと
  - ・日常の一場面を切り取って日記を書くこと
  - ・効果的な文章表現を学ぶ視写をすること
- 新出漢字の意味を理解させるため言葉集めをしたり、文章の流れで意味をとらえさせたりする。また、日記などで日常的に使うよう意識させる。
- 「話す」力は高い。引き続き子ども同士が聞き合い表現する時間を確保するなど、発表力をつける指導を行う。

#### 【算数科】

- 図形の面積や割合について力をつけるために、既習学年のワークシートや「みえスタディ・チェックワークシート」を家庭学習や授業等で取り組んでいく。
- 具体物を操作する活動を通して、授業の中で考え方を導き出させる。自分の考えを式だけでなく、文章化して説明できるように指導にする。自力解決と聞き合う場（学び合う場）を充実させる。
- 子どもたちが理解しやすく学べるように、ICTの活用と機会を充実していく。
- 意欲を引き出すために生活に根ざした学習課題を設定する。



考えよう 家族みんなで スマホのルール

私たちは子供たちの  
情報モラル育成に取り組みます

大木中学校区  
学校運営協議会



文部科学省